

2012. 5. 23

国総研資料第 609 号の発行に伴う鋼・コンクリート合成床版の検証に関する技術資料について

技術委員会床版小委員会

ご発注者各位

時下ますますご清祥のことお喜び申し上げます。

平素は協会活動にご理解とご支援を頂きまして、ありがとうございます。

このたび、鋼・コンクリート合成床版技術評価方法が掲載された国総研資料第 609 号「道路橋の技術評価手法に関する研究－新技術評価のガイドライン－（2010 年 9 月）」が発刊されました。そのため、協会の会員各社が開発し販売しています「鋼・コンクリート合成床版」について、その技術的証明の参照資料として当協会として下記のように考えますので、よろしくお願いいたします。

【鋼・コンクリート合成床版の開発の経緯】

当協会では、新しい鋼橋として少数主桁橋を提案し、そこでは長支間の高耐久性床版として会員各社独自に開発した鋼・コンクリート合成床版を推奨しています。開発当初は、会員各社の設計条件には差異があり、関係当局や設計コンサルタントから基本計画における統一を図るように要望がありました。そのため、基本計画での床版厚、床版重量等については会員各社の試設計を基に設計条件を統一し、また耐久性確認の基本条件もまとめ、会員各社にその条件を守る製品を開発するよう依頼をしてきました。

【鋼・コンクリート合成床版における当協会と合成床版販売各社の立場】

当協会は、鋼・コンクリート合成床版の普及、及びその品質確保のために、合成床版の設計条件の統一や道路橋示方書などの基準類に準拠するため照査方法などについて、関係当局とお打合せを行いながら整備してきました。その結果について、協会の資料として「合成床版の設計・施工の手引き」（最新平成 20 年 10 月）にまとめました。また、発注に際しての協会の考え方をまとめた参考資料として「鋼・コンクリート合成床版の計画資料」（最新平成 18 年 4 月）、さらに維持管理に関する協会の考え方をまとめた参考資料として「鋼・コンクリート合成床版維持管理の計画資料」（最新平成 19 年 4 月）を発刊しています。

協会内の鋼・コンクリート合成床版販売各社は、協会発行資料を確認し、各社開発製品にその考え方を反映させて、性能確認試験などを繰り返し、各社製品の品質証明や製品保障を行っています。

【鋼・コンクリート合成床版の技術資料について】

鋼・コンクリート合成床版のご採用に当たっては、受注各社がその責任で選定した製品について、道路橋示方書の要求性能および関係基準を満足することを証明する資料としては基本的に国総研資料第 609 号「道路橋の技術評価手法に関する研究－新技術評価のガイドライン－（2010 年 9 月）」をご参照するようにお願いいたします。

また、建設コンサルタント様のご発注前のご採用に関しては、「鋼・コンクリート合成床版の計画資料」（最新平成 18 年 4 月）をご参照いただき、ご発注者様のその構造物に沿った考え方を付加した基本設計を実施していただけますようお願い申し上げます。

敬具